



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: みわ さん からの質問

ひつじにはなぜしっぽがないの?

ご質問、ありがとうございます。

ふわふわの毛に注目されることの多いヒツジ。よく観察すると気が付きますが、ヤギとは違い、しっぽがありません。今回は、ヒツジのしっぽのヒミツについて解説していきます。



実は、ヒツジの赤ちゃんが生まれた時は、お尻にヤギよりも長いしっぽがついています。しかし、ほとんどのヒツジは小さいうちに断尾といってしっぽを切る処置をしています。しっぽを切るなんてかわいそう、

と思うかもしれませんが、断尾はヒツジが健康に生きていくために必要な処置でもあります。

ヒツジは、体の毛を利用するために長い時間をかけて家畜化された動物です。その結果、体の内側に生えるふわふわの毛だけが長く伸びるようになり、他の動物にあるような自然な毛の生え変わり（換毛）はなくなりました。換毛がないため、1年に一度、人が毛刈りをする必要があります。



ヒツジのしっぽが長いままだと、しっぽにもふわふわの毛が生えてきます。毛が生えたしっぽは重くヒツジが自力で動かすことが難しいため、しっぽに糞や尿がついてしまい、不衛生になります。毛に絡まった汚れは取れにくいので、虫がついたり病気になったりする原因にもなります。このような理由から、ヒツジは負担の少ない子どもの頃に断尾を行います。

ちなみに、毛量が少なかったり、しっぽを動かすことができて衛生管理に問題がなかったりする場合など、野生ヒツジの形質が強く残っている一部の品種では、断尾を行わないこともあります。

赤ちゃんにしかないヒツジのしっぽ。もしどこかでヒツジの赤ちゃんを見かけたら、観察してみてくださいね。